

水産三者合同意見交換会

日 時 : 令和4年11月24日(木) 16:00~
場 所 : ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
出席者 : 熊本県議会水産振興議員連盟 14名
熊本県執行部 15名
熊本県漁連役員・部会長 11名

水産業を取り巻く環境は、一昨年からの新型コロナウイルスによる消費低迷から水産物流通量が減少し、一部に回復傾向はみられるものの、漁業者・漁協・漁連の経営が一段と厳しくなっています。加えて漁業就業者数の減少や高齢化が進み、漁業生産量が減少しています。

このような中、今年2月には熊本県産あさりの産地偽装が発覚し、県産水産物のブランドを失墜させる事態となりました。このため、県並びに県議会水産振興議員連盟の皆様方の多大な尽力を賜り産地偽装の根絶と資源回復に取り組んでいます。

また、八月には八代海で赤潮による養殖魚の大量斃死が発生し、過去2番目の約20億円の被害が発生しました。この対応でも県並びに県議会水産振興議員連盟の皆様方の多大な支援をいただき、被害を受けた漁業者が養殖再開に取り組んでいます。

このような現状に立ち、漁業を成長産業化し漁家経営を安定させるため、今年度も当漁連を組織する第1部会から第6部会までの各部会から現状を打開するための要望を取りまとめ熊本県並びに熊本県議会水産振興議員連盟に要望書として提出し、要望内容について建設的かつ活発で有意義な意見交換を行いました。

要望内容

- 八代海の海底に堆積した流木等により、網が破れるなど漁業被害防止のため海底ごみの撤去するための予算の拡充。
- 白川河口域漁場において河川からのごみを回収するための構造物の設置。
- 海岸に漂着し、漁場に流れ出すごみの回収予算の確保。
- 稚魚育成のため、磯焼けにより減少した藻場の再生。キジハタの放流。地元意見を反映させた稚魚放流事業の実施。
- 魚類養殖漁場増設のための区画漁業権の拡大と魚類養殖場整備への支援。
- 港湾及び漁港内に流入した土砂の浚渫と捨て場の確保。土砂が堆積しにくい港への転換。
- 航路の土砂流入を軽減するための石積みの嵩上げ。航路の浚渫。
- 漁港内の堤防のヒビなどの修復及び耐震化、老朽化した栈橋等の施設更新補助。
- 水産物荷捌き施設等の共同利用施設の多くが建設から30年以上を経過していることから、これらの施設の更新に向けた計画作成への支援。

【主催者挨拶】



熊本県漁連 藤森会長

【来賓挨拶】



熊本県議会水産振興議員連盟 吉永会長

熊本県農林水産部 竹内部長

【要望書提出】



熊本県議会水産振興議員連盟



熊本県県知事（代理：竹内部長）

【意見交換】



【意見交換】



【閉 会】



熊本県漁連 橋本副会長

以 上